

ふくつ

小・中学校

危険な既存ブロック塀調査 来年夏の空調設備設置に向け調査開始



■ 福間中学校



■ 福間小学校

CONTENTS

- 平成30年7月臨時会 P.2
- 平成29年度決算認定 P.3
- 平成30年度補正予算 P.6
- 市長に問う(一般質問) P.10

第4回福津市議会臨時会 (平成30年7月13日開催)

6月議会において福岡小学校改修工事の工期延伸と契約金額の増額議案が提出された。工事延伸の主な理由は、①砂地盤であったために当初計画していなかった仮設の土留め工事が増えたこと②既設校舎に対しての騒音を配慮した工事を行うため一斉に解体作業が行えなかったこと③建設敷地が狭いために建物のコンクリート打設回数を増やしての施工となったと説明があった。また施工を進めるにあたっては市が確認をし、認めれたことから施工業者には問題なく責任のすべては市にあるとの見解を示した。

6月議会において総務文教委員会では全員反対で否決という異例の採決があった。本会議では賛成少数で否決した。

市は今回の事態を重くとらえ再発防止策を提示し、臨時会の開催となった。臨時会では、市の体制等を整えることを明確にしたことにより、全員賛成で可決した。

6月議会総務文教委員会 全員反対で否決

主な討論

反対 学校施設の工事であり、子どもたちの安全を第一として、最初の設計や組み立てがあつてしかなるべき。市民の税金で費用を新たに追加支出することは、現時点では納得できない。

反対 今後大きな工事をしたときに、同じ轍を踏む懸念がある。共同で努力してなし遂げていくという体質が市のほうに見受けられない。

6月議会本会議 賛成少数で否決

主な討論

賛成 施工条件について、予期することのできない特別な状態が発生したことによる契約変更であると考ええる。設計図書で明示されていない施工条件が発生した場合の工期変更及び工期延長に伴う契約金額の変更については、市が答弁した通り、歩掛と正当な積算根拠に基づき、最低限工事金額を負担することは、契約約款上、妥当であると考ええる。

反対 85日の工期延長と工事請負金額1460万の負担増の提案がされているが、再発防止策が見えない。また、工期の7割が終了している状態で、議案が提出されている。このような状態での議案提案に疑問を持たざるを得ない。

第4回臨時会 冒頭の市長発言

市議会のご指摘を真摯に受けとめ、以下5点、特に注意をもって臨んでいく。

- ①工事進捗状況の全員協議会等での随時報告
- ②工期の管理の徹底及び必要に応じた直近の議会での議案上程
- ③契約約款に基づく適正な契約
- ④資料に基づく市議会への丁寧な説明
- ⑤工事契約の事務に精通した職員の育成や採用

総務文教委員会 全員賛成で可決

主な質疑

問 将来、大きな工事が控えているので、職員体制に関して非常に強い疑義がある。その対策は。

答 建築士の資格を有する職員の

採用は、本年度SPI試験を実施したことにより応募があつている。

主な討論

賛成 提出の資料により、いつの時点で工期が延びたかというのが明らかになった。専門家の採用が本来に必要なという認識に至っている、是非これを実証していただきたい。公契約条例の制定なども今後、是非検討されたい。

本会議

全員賛成で可決

主な討論

賛成 今回の委員会でも3点確認された。①工事において、学校、地域住民の要望を把握することに努めた中で経済的な工程を設定する②工期変更に伴う重要な施工変更が行われた際は、速やかに議会に報告③一級建築士等の技能を持った職員の採用。このことをしっかりと行っていたら、今後の大規模工事において、請負契約内で施工が完了するよう望む。

平成29年度 決算認定

平成29年度各会計状況

会計名		歳入	歳出
一般会計		224億6730万円	218億1347万円
特別会計	国民健康保険	76億6197万円	76億2466万円
	後期高齢者	9億6462万円	9億3331万円
	介護保険	47億9440万円	46億9811万円
	住宅新築資金	1153万円	434万円
合計		358億9984万円	350億7391万円
差引		8億2592万円の黒字	

千円単位切り捨てのため合計は一致しません

監査委員の意見

平成29年度の決算は、一般会計の歳入決算額は224億6730万円、歳出決算額は218億1347万円となり、平成27年度以降は、歳出決算額が200億円を超えている。基金の残高は、107億1234万円であり、対前年度比で減少。今後も安易な基金の取り崩しに頼らないよう心がけていただきたい。

市債の残高は、一般会計で201億1535万円、特別会計で697万円。今後も市債を発行する際は、少しでも有利になるような努力を重ねていただきたい。

歳入では、自主財源比率がわずかではあるが増加に転じている。今後も自主財源の確保を図る努力を継続していただきたい。自主財源の71.6%を占める税収は、人口の増加に伴い、市民税と固定資産税が増加している。しかし、総人口の伸びほど個人市民税は伸びていないので、今後、生活環境整備や企業誘致等、生産年齢人口を増やす方を優先的に考え

て実行していく必要がある。

歳出では、扶助費が今年度も増加し、60億円に近付きつつある。これは、年少人口の増加によるものが大きい。進行する高齢化の影響もあり、扶助費も以上に増大することが予想される。また、今後は各種公共施設の長寿命化計画や管理計画をきちんと立て、健全な財政運営に臨んでいただきたい。

市税等の徴収は、毎年着実に改善方向を維持している。近隣市も含めた関係部署間の連携の強化や滞納者とのきめ細やかな対応の結果として評価したい。

しかし、依然として、一般会計及び特別会計を合わせた収入未済額は、約4億8000万円あり、特に滞納繰越分の徴収率が低い。今後、滞納者の所得区分の分析や固定資産相続の実態調査の強化など、より効果的な施策を継続して実施し、より一層の徴収努力をしていただきたい。

平成29年度はこのように使われた。（一般会計）

議会費	2億81万円	商工費	1億9656万円
総務費	26億5882万円	土木費	18億4319万円
民生費	91億1081万円	消防費	6億7694万円
衛生費	20億8738万円	教育費	26億1098万円
労働費	0万円	災害復旧費	1万円
農林水産業費	3億623万円	公債費	21億2169万円

千円単位切り捨てのため合計は一致しません

市の台所事情

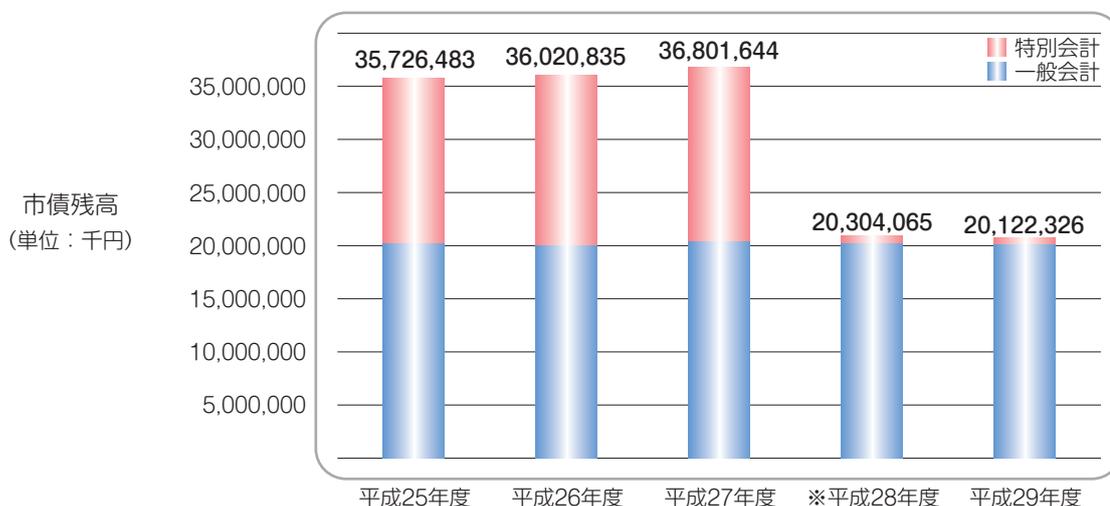
出資金 37億5122万円 (前年度 36億889万円) ※1
貸付金 (債権) 2153万円 (前年度 2478万円) ※2
預金 (基金) 107億1234万円 (前年度 110億1128万円) ※3

借金 (市債) 201億2232万円 (前年度 203億406万円)
 借金の内訳 一般会計 201億1535万円 ・ 特別会計 697万円

注釈

- ※1 出資金 宗像地区事務組合(水道事業)、むなかた地域農業活性化機構など10団体に出資。
- ※2 貸付金 住宅新築資金等貸付金。
- ※3 預金 市の経営を将来安定し運営するため、目的別に積み立てている。

市債残高の推移



※平成28年度より公共下水道事業が公営企業会計へ移行したため特別会計の市債残高が大幅に減少。

平成29年度一般会計

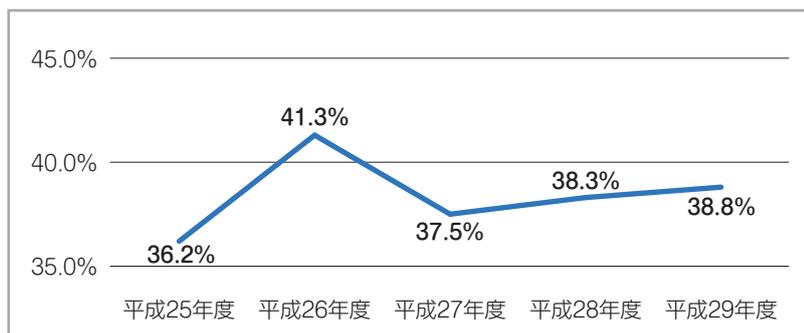
自主財源： 87億959万円 (前年度 81億7531万円)

依存財源： 137億5771万円 (前年度 131億5579万円)

財源の構成割合 市税等の自主財源は38.8% (前年度38.3%)、地方交付税や国庫支出金などの依存財源が61.2% (前年度61.7%)である。

財政構造の弾力性を測定する指標である**経常収支比率は93.3% (前年度93.4%)**

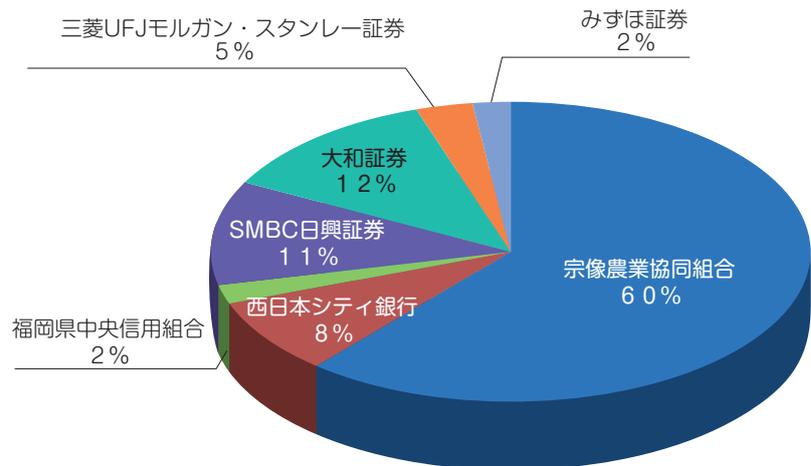
自主財源比率



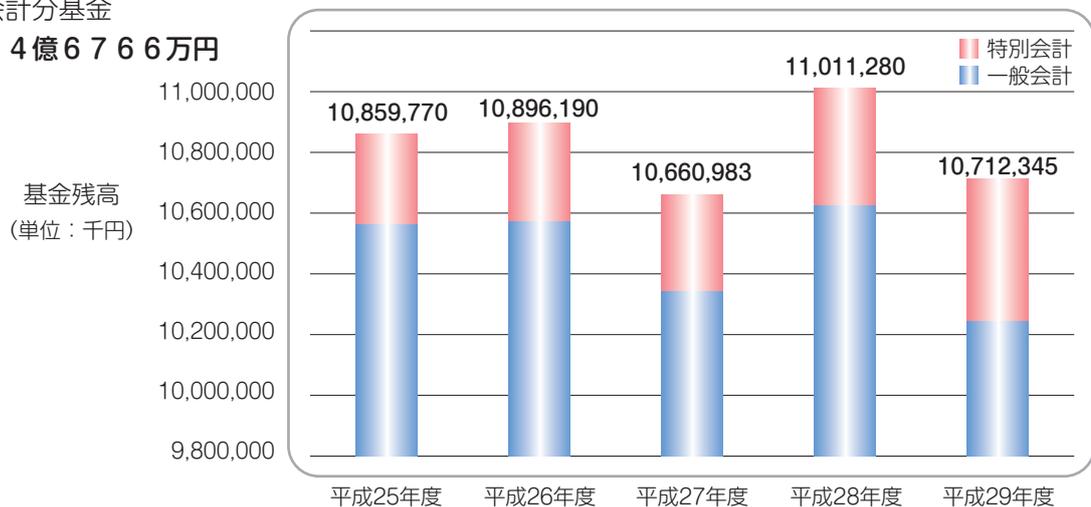
〈基金〉

- 財政調整基金
5 8 億 7 9 6 4 万 円
- 教育施設建設準備基金
1 2 億 5 1 6 7 万 円
- 減債基金
3 億 7 6 8 8 万 円
- まちづくり基金
2 5 億 1 0 6 8 万 円
- 文化振興基金
2 億 0 0 0 0 万 円
- ふるさとづくり基金
2 5 6 7 万 円
- 太陽光発電設備管理基金
1 3 万 円
- 特別会計分基金
4 億 6 7 6 6 万 円

金融機関別基金保管状況 (平成30年5月末)



基金残高 (3月末) の推移



平成 29 年度福津市公共下水道事業会計決算認定 (公営企業会計)

○業務の予定量

年間総処理水量：5 4 5 万 5 4 8 6 m³ (福間 4 1 9 万 8 8 7 0 m³・津屋崎 1 2 5 万 6 6 1 6 m³)

排水戸数：20, 571戸

主な工事

建設工事	管渠築造工事 (畦町、東福間、八並、内殿)	3 億 7 3 0 0 万 円
改良工事	管渠改築工事 (東福間)	6 5 3 6 万 円
	マンホール蓋取り換え工事 (若木台)	1 1 4 0 万 円

○収益的収入及び支出

下水道事業収益 2 0 億 1 7 8 2 万 円

下水道事業費用 1 8 億 5 5 0 9 万 円

○資本的収入及び支出

資本的収入 5 億 3 7 1 0 万 円

資本的支出 1 0 億 2 0 3 2 万 円

※資本的収入額 5 億 3 7 1 0 万 円が資本的支出額 1 0 億 2 0 3 2 万 円に対し不足する額 4 億 8 3 2 1 万 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1 7 2 2 万 円、過年度分損益勘定留保資金 7 7 7 0 万 円及び当年度分損益勘定留保資金 3 億 8 8 2 8 万 円で補てんした。

平成30年度一般会計補正予算 2億4703万円を追加し
総額 222億7031万円

ふるさとづくり寄附金事業費

ふるさとづくり寄附金の促進、強化を図るため、返礼品の送料の見直しやウェブプロモーションの展開、市独自の返礼品管理システムの構築などに係る費用を増額 985万円

国際交流事業費

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催前年からのキャンプ地受け入れに向けて、関係団体等との交渉 529万円

地方創生事業費

地域商社の設立を、3つの市内直販所を中心とした市内関係団体、アドバイザーと共に検討してきた。平成30年10月の設立を予定し、地域商社を通じた地域産品の販路拡大、流通促進により、市の経済の安定的拡大を図るための事業費 5335万円

児童扶養手当支給事業費

児童扶養手当法施行令の改正により、全部支給の所得限度額が引き上げられ、平成30年度8月以降の支給額が増加することに対応 323万円

認可保育所運営事業費

保育所等整備交付金交付要綱の改正に伴い、交付基準額が変更となるため、これに合わせて市の補助金を増額 4015万円

小学校・中学校教育振興費

就学援助費の内、新入学通学用品費について、平成31年度の新1年生から入学前の3月に支給 4178万円

小学校・中学校施設維持管理費

小中学校に配置している電子黒板が経年により劣化しているため、県補助金を活用し機器の更新 704万円

小中学校校舎施設整備事業費

福岡中学校（改築を予定）を除く各小中学校に来年夏までにエアコンを設置するための設計委託料 2970万円

中央公民館管理運営費

社会教育活動を支援するため、社会教育団体などが活動の場として利用できるよう、中央公民館の調理実習室を用途変更し改修 238万円

農業用施設災害復旧事業費

7月上旬の豪雨により被害が発生した農業用施設において、早急に現状復旧のための補修工事を実施 350万円



崩壊した法面

文化財発掘調査事業費

平成30年4月から5月にかけて遺跡が確認された4遺跡について、開発事業に伴う発掘調査を工事計画の事情から早期に実施 770万円

意見書・問責決議

学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書

提出者 蒲生 守
 賛成者 井上 聡

永山 麗子

核兵器禁止条約への参加を求める意見書

提出者 戸田 進一
 賛成者 大久保 三喜男

原崎市長に対する問責決議

提出者 横山 良雄
 賛成者 永島 直行
 碓野 九州男
 吉水 喜美子

福津市税条例及び福津市 税条例等の一部を改正

全員賛成で可決

地方税法等の一部を改正する法律等が平成30年3月31日に公布されたことに伴い、関連する福津市税条例等について所要の改正をする。

第92条を第92条の2とし、(製造たばこの区分)を追加「紙巻たばこ・葉巻たばこ・パイプたばこ・刻みたばこ・加熱式たばこ」、第93条に(製造たばこみなす場合)を追加、「特定加熱式たばこ喫煙用具は製造たばこみなす。」

第95条中「5262円」を「5692円」に改める。第96条第3項中「第92条」を「第92条の2」に改める。第98条第1項中「第92条」を「第92条の2」に改める。第98条第1項中「第92条第1項の売渡し又は同条第2項の売渡し若しくは消費等」を「売渡し等」に改める。

付則第4条第2項中「新条例」を「福津市税条例」に改め、同項第3号中「平成31年3月31日」を「平成31年9月30日」に改め、「新条例

第92条第1項」を「福津市税条例第92条の2第1項」に、「平成31年4月1日」を「平成31年10月1日」に「1262円」を「1692円」に「平成31年4月30日」を「平成31年10月31日」に「平成31年9月30日」を「平成32年3月31日」に改める。付則 第1条この条例は、平成30年10月1日から施行する。

主な質疑

問 地方税法等の一部を改正する法律が平成30年3月31日に公布なのに、なぜ6月議会に出さず9月議会に上程したのか。

答 施行日が平成30年10月1日になっているため。

問 地方税法施行規則の一部を改正する省令別記第2号様式の申告書を平成30年10月31日まで市長に提出となっているが。

答 差額分を払う申告書を提出することになる。

(市民福祉委員会審査報告)

まちおこしセンター「なごみ」の開館日および 時間変更

賛成多数で可決

主な質疑

問 「なごみ」の開館時間は現在「午前9時から午後8時」となっているが、「4月から6月と、10月から翌年3月を午前9時から午後5時」、「7月から9月を午前9時から午後6時」に、休館日を「毎週火曜日」から「毎月第2・第4火曜日」に変更となる。この提案にある利便性の向上はどのように図られるのか。

答 毎週火曜日休館にしていたものを、第1・第3・第5火曜日を開館し、昼間の観光客の利便性の向上に繋げる。また、地域においても少しでも開館日を増やせば利便性の向上に繋がると判断をした。また、開館時間は短縮しているが、配付している入館者数の資料にあるとおり、午後5時から午後8時まで利用客が非常に少ないことから施設の効率性も考え短縮することとした。

宮司コミュニティセンターに 指定管理者制度を導入

全員賛成で可決

主な質疑

問 市として指定管理者を導入するコンセプトは何か。

答 市で展開できなかったような事業の展開、サービスの向上に努めていただくことを期待して導入する。

(建設環境委員会審査報告)



宮司コミュニティセンター

食育と運動の両面から健康寿命を延ばすための先進的取り組みや、今後の高齢者施設の在り方等について先進地を視察研修した

北海道美幌町、しゃきつとプラザとヘルスリーダー養成に関する調査。北海道清里町、ケアハウス及び介護老人保健センターの管理運営に関する調査。北海道網走市、健康マイレージ事業ほか健康推進の取組みに関する調査。

北海道美幌町

①「しゃきつとプラザ」は、保健センター・福祉センター・健康増進センターの統合施設で、町民の健康と生きがいづくりの活動拠点としての機能を持つと同時に在宅福祉サービスの総合的かつ効果的な提供拠点として機能している。保健・福祉の実践的なサービス提供機能の総合的連携・強化を図っている。

②「ヘルスリーダー」は、年9回の養成講座の7割以上を受講した者に対し町からヘルスリーダーとして委嘱される制度である。活動内容は、主に食を通じて町民の健康づくりに当たっている。ヘルスリーダー自らが町民を対象に健康教育や啓発事業を企画・実践している。特に、栄養士などの専門職の採用が難し

(市民福祉委員会所管事務調査)

い中で、行政と協力し住民の健康づくりの推進役となるヘルスリーダー制度は、本市においても研究し、参考とすべきである。



ケアハウスきよさと

北海道清里町

①「介護老人保健施設きよさと」は、平成12年に建設され、社会福祉協議会が指定管理者(全国初)で、清里町保健福祉総合センター内に設置されている。

入所定員72名(短期入所者2名)平成29年度入所利用率96・2%通所利用率69・5%である。職員数は国水準53人を上回る63人を配置している。平成27年度より赤字経営で、累積赤字は9億円となっている。

②「ケアハウスきよさと」(軽費老人ホーム)は、平成26年度二丁調査をした結果、介護度に関係なく入居できる施設が必要と判断され、平成27年度基本設計、平成28年度実施設計、平成30年11月1日オープン予定である。入所対象者は、60歳以上で普段の生活に不安がある人、家族の支援が受けられない人、基本として単身の方となっている。町外からも入所もできる。

建設に関しては、補助金2億円、過疎債9億円、備品・太陽光発電等に補助金2億円。この事業に道庁から期限付き職員が派遣されている。管理運営は指定管理(社会福祉協議会)が行う。

在宅介護サービスを受けながらの生活が困難になった場合は、介護施設に転所する。住民ニーズを受けての建設であるが、施設と設備、スタッフが充実している。将来めざすべき施設と考える。

北海道網走市

①「あばしり健康マイレージ事業」は、特定健診の受診率向上のため40歳以上の市民が、特定健診を受診した場合などにポイントを付与し、20ポイント達成者には商品が貰えるものである。特定健診以外にポイント取得出来るもの(人間ドック・無料歯科検診・がん検診・健康講演会・食育イベント等20事業)が有る。

②「あばしりベジタブル運動」は、生活習慣病を防ぐために、野菜を多く食べる運動であり、推奨している1日350グラム以上の野菜を摂取できるよう情報提供や周知に取り組んでいる。試行錯誤しながら住民の健康づくりと医療費の適正化を図っている。本市も見習うべきと考え

神興幼稚園は、園舎及び遊具の老朽化や倉庫などにも危険性があり、運営を継続するならば、建替えも十分に検討する必要がある

平成29年4月に上西郷幼稚園と統合して市内で一つとなった神興幼稚園は、「明るく、伸び伸びと活動し、心身ともに健康でやさしい子どもの育成」を教育目標とし、「①知識及び技能の基礎②思考力・判断力・表現等の基礎③学びに向かう力、人間性等」の幼稚園教育要領による3点を掲げている。年少4歳児39名、年長5歳児43名で合計82名である。

(総務文教委員会所管事務調査)

遊具は、昭和42年購入で46年間使用したものをはじめ昭和50年代に購入したものがほとんどである。備品・用具の収納スペースがなく、倉庫内での怪我等が心配である。園舎においては、基礎部のひび割れもあり、園児が増加傾向にあるので、早急な検討が望まれる。



老朽化が進む神興幼稚園

学校が困窮する諸状況を教育委員会は事前に把握し対処願う

工期が、9月から12月まで延長となった福岡小学校は、2学期からの授業に際し、騒音や粉塵などで窓を開けて学習することが困難であるために、熱中症対策として既存校舎(管理棟)への空調機設置の要望が学校側から強く、委員会としても市へ要望した。また、今後児童数増加が懸念される中、教室の不足も予測され、職員増による職員室も狭くなる。仮設校舎などによる追加教室が建設されると、グラウンドが狭くなり、運動会なども不便となり、児童のストレスを考慮すると、早急なる対応を検討すべきである。

五條市の「し尿処理施設」を視察 地域が自由に活動できる交付金制度を 採用している名張市を視察

市は現在使用している「し尿施設」の契約が平成35年に終了することから新たな施設について検討をしている。このことから今後の検討を行うため奈良県五條市の「し尿施設」を調査した。また郷づくりには権限と財源移譲を謳って地域郷づくり計画を発表した三重県名張市では、平成15年より交付金として市民の活動を行っていることからこれを調査した。

(建設環境委員会所管事務調査)

五條市クリーン・オアシス(し尿施設)に関する調査

調査は直接施設内で行われたが、騒音・臭い共に無かった。要因として発電機等の最も音がするものは地下に設置され、臭いについては、薬剤と脱水能力の高い脱水機を使用され排出されているためと説明があった。同施設は建替え事業ではあったが建設にあたっては、何度も住民説明会を開催したと伺った。委員会は本市においても計画ありきではなく早期に地域の合意形成を求める。

名張市ゆめづくり地域交付金制度に関する調査

同市では平成15年に地域団体の法人化を即す条例を制定。内容は、まちづくり活動の原資をこれまでの補助金から、使途自由な一括交付金とした。現在は「地域づくり組織」を法人制度にするように国に求めている。この制度の創設により地域コミュニティバスの運行を地域が担うなど、地域の問題解決のために自主的な活動が始まっている。



し尿施設現地視察状況



ここが聞きたい

一般質問



1. 横山 良雄 P11

- ①入札について
- ②福津市立幼稚園、小学校、中学校における空調設備の設置計画について
- ③市営納骨堂の建設について

2. 江上 隆行 P11

- ①住民と行政、自治会と行政、住民と自治会の関係について、本市の考えを問う
- ②地域商社について問う

3. 榎本 博 P12

- ①学校の空調設備の導入について
- ②郷づくりについて

4. 永山 麗子 P12

- ①ふるさと納税増額の工夫と返礼品について
- ②ブロック塀等の安全性確保の推進について
- ③不育症の周知や患者支援の推進について

5. 永島 誠也 P13

- ①公共施設のトイレにおける本市の考え方について
- ②ため池防災の考え方について
- ③ゴミ行政の考え方について
- ④熱中症対策について
- ⑤幼稚園・保育所の来年10月予定の無償化実施について

6. 中村 清隆 P13

- ①本市の暑さ対策について
- ②福津市立神興幼稚園について

7. 米山 信 P14

- ①市内小・中学校の教室への空調設備設置について
- ②久末ダムの用途廃止について

8. 碓野 九州男 P14

- ①福津市地域支えあい制度について
- ②認知症施策について

9. 蒲生 守 P15

- ①福間中学校建設計画について
- ②し尿処理施設建設計画について
- ③ジビエの取組みについて

10. 井上 聡 P15

- ①ユニバーサルデザインのまちづくり推進を
- ②市内美化について
- ③ブロック塀、擁壁等の安全性について
- ④公共施設の利用申し込みの改善と施設利用状況について

11. 永島 直行 P16

- ①海岸清掃と水上バイク規制について
- ②牟田池改修工事について
- ③菜がら火について

12. 戸田 進一 P16

- ①農業用ため池の保全・改修について
- ②切れ目のない子育て支援について
- ③水道事業について
- ④市と自治会のありかたについて

13. 豆田 優子 P17

- ①新しい公害「香害」による健康被害の理解と対策について
- ②「生きる力」を育む教育について

14. 大久保 三喜男 P17

- ①夕陽館無料送迎バス廃止に伴う利用者の負担軽減を
- ②産廃事業所・関連施設への安全対策に係る市の対応は

一般質問の詳細は、福津市議会ホームページをご覧ください。
 質問者ごとに一般質問を録画配信しています。公開は、各定例会後の4年間です。
 (検索方法は19ページに掲載)

福津市古墳キャラクター
ふんちゃん





横山 良雄

議会案件に市長は関わっていたのか

今回を教訓に市長までの
決裁を考える

問 福岡小学校の改築工事で、当初契約からの工期や金額に変更が生じた。入札の考え方と改善点は。

答 予定価格が3億円を超える大型工事は、大企業と地域の中小企業からなる特定建設工事共同企業体JVに発注している。また、公募型制限付き一般競争入札による契約事務を実施している。改善点としては、所管部署が発注時に入念な現地調査を行い、設計書を十分に精査して作成する。発注後に変更が出ないように努め、これまで以上に庁舎内、関連部署連携の上で事業の進捗状況を確実に把握していく。



利用が少ないわかたけ広場

問 追加工事に市長の決裁がどのように関わったのか。

答 議会案件であるので、部長、教育長、副市長、市長という決裁ラインをたどるべきであり、今回の案件を教訓にする。

▼市営納骨堂は社会福祉協議会の管理で「わかたけ広場」に移設を

問 納骨堂と福岡武道館をわかたけ広場に移動し、跡地に学童施設や市民開放型プールを設置、福岡小学校のグラウンドを広げ、教育ゾーンの確定を考えられないか。

答 納骨堂の建設が先伸びの可能性もあるが、検討を重ねていく。



江上 隆行

商社解散の場合 誰が責任をとるのか

社員会(構成団体)に
なるのかと思っ

問 一般社団法人(漁協等の関係団体で構成)という事だが、地域商社で利益が出ず赤字続きで経営不振に陥り、事業継続を断念しなければならなくなり、解散となった場合、最後の責任は誰がとるのか。

答 社員会になるのかと思っ。

▼自治会長への説明会等の開催を

問 提言したいことがある。それは、いろいろな心配事や悩みを抱える自治会長の負担軽減、支援強化の一環として、自治会長に出席していただき、説明会・意見交換会を開催する。



「地域商社」を推進する内閣府

答 会の趣旨は、市が自治会へゴミの分別収集や広報紙配布等の協力をお願いしている以上、市の諸事業の趣旨や市が抱える地域課題等について、きちんと説明を行うと共に、市長が自治会長と本音の意見交換を行った上で、自治会長へ協力をお願いをすれば、住民と行政、自治会と行政の関係を包含した、行政サービスの更なる向上を図ることができると考える。私のこの提言に対して、市長の見解を求める。

答 自治会長の負担の増大感がある中、相互理解の場を新たに設定する事には賛成であり、新年度に向け、説明会・意見交換の場を行政からの働きかけで実現したい。



榎本 博

郷づくり基本構想の 進捗状況は

来年度から導入に向けて
協議を進めている

問 計画にあたってアドバイザー等が入って策定されたのか。また、パブリックコメントの中で新しい住民にもアンケートをして欲しいとあげられていた。市の考えは。

答 策定にあたっては郷づくり8地域から代表者1名の方と地域担当職員1名と支援課・地域振興部長で策定をおこなった。また幅広く住民の意見集約をするよう協議会でも説明をおこなった。

問 郷づくりの認知を高めるためにイベントをするがあるがどのような内容なのか。



完成した神興東の郷づくりの拠点

答 郷づくりの活動を市民に知ってもらえるような実践交流会的なものを考えている。

問 自治会では郷づくり行事が多すぎていけないとアンケート結果も出ている。イベント等は担当で行うか、郷づくりの業務負担を減らすなど考えるべきでは。

答 負担を軽くしなければならぬところは認識している。一つの反省として担当職員を各地域に配置しているが地域への貢献度・信頼度というものが足りなかったと思っている。今後、研修などをおこない地域のほうで企画・運営面で戦力になるよう努めていきたい。



永山 麗子

ふるさと納税増額の 工夫と返礼品

大リニューアルし、
ネット拡散していく

問 制度が始まって10年。この寄附は、財源として各自治体が地域活性化事業等に取組めるもの。28年度の納税額は、福津2千万円、宗像6億9千万円、古賀1億2千万円、新宮5億4千万円、宮若6千万円と大差がある。本市の考えは。

答 取組方針が違った。7月に大リニューアルした。ネット拡散や商品開発等、大改革をしたい。

問 地域商社の関わりは。
答 返礼品出し手の取りまとめ役や物の開発。システム化し、ネット等で拡散させていく。



返礼品の津屋崎人形 かさねモマ笛セット

問 返礼品に、納骨堂の永代理葬権を取入れては。

答 納骨堂は、建て替えに際し民営化を図るので困難と思う。

▼ブロック塀等の安全確保の推進

問 大阪北部の震災を受け、安全点検後の状況は。

答 福岡小、福岡中、勝浦小の3校の安全性に問題。専門家による調査、点検、診断が要請されており、委託料は補正予算に計上。

問 一般家庭等の周知徹底方法は。
答 広報紙やホームページで周知。



永島 誠也

公共施設トイレの 本市の考え方

改修工事を行っていく
必要もあると考える

問 洋式・和式であればベビーチェア

ーを設置する考えはないのか。

答 必要に応じて設備を整えたい。

▼ため池防災の本市の考え方

問 農業用水の確保のため必要な施設
の一方、決壊した場合過大な被害を及ぼすことが想定される。管理を水利組合集落の受益者だけに頼ってないか。

答 水利権者にお願しているが異常の場合、市職員で現地確認を行っている。今年度8カ所の耐震調査を行う。



ベビーチェアのあるトイレ

▼熱中症について

問 市立小中学校の空調設備の整備方針について伺う。

答 熱中症対策も含めて、学習環境の改善・エアコン設置の実現に向け早急に市の方針を固めて努力する。

▼ゴミ行政の考え方について

問 段ボールコンポストに関し環境学習の一環として考えられないか。

答 学習できるかどうかは内部のほうで研究する。



中村 清隆

小中学校に早急な エアコン設置を

空調設備の設置はスピード感が重要だと思つ

問 空調設備の設置方法は。

答 補助金が活用可能な直接施工方式と、補助金は活用できないが、設計、施工、メンテナンスを一括して行うことができ、設置期間が短くて済むリース方式がある。

問 いつまでに方針を固めるのか。自治体のやる気次第だと思つが。

答 できるだけ早い時期に方針を決定し、全員協議会で報告したい。

問 スポーツ施設である体育館全体を冷やすことは、構造上難しいが、ロビーにエアコン設置の考えは。

答 スポーツ施設である体育館全体を冷やすことは、構造上難しいが、ロビーにエアコン設置の考えは。



老朽化した築約47年の神興幼稚園

答 津屋崎体育センターは、そのまま設置可能。福岡体育センターは、吹き抜けがあり、効果の分析が必要。しかし、工事費や維持管理費がかかるので、今後市長部局と協議し、方向性を見出したい。

▼神興幼稚園の役割と将来像は

問 老朽化した園舎の建てかえは。

答 園舎を建てかえるかは、平成31年度までに幼稚園の今後の方針を定め、その状況を見て判断する。

問 一時預かりの導入の考えは。

答 ソフト事業のサービス拡大なので、内部で検討したい。



米山 信

小・中学校への 空調設備設置は

来年の夏までに設置 できる方策を探りたい

問 昨今の真夏の暑さは尋常ではなく、酷暑化が急激に進んでいる。

全国の自治体で教室に空調設備を設置してほしいとの住民要望が強くなってきている。本市においてもこの件で住民の署名運動が広がりつつあるが、住民の願いを真摯に受け止め、小・中学校の教室に空調設備を早急に設置すべきと考えるが見解は。

答 早急な対応が必要だと思っている。財源のことは考慮しながら、スピード感を持って対応していくことが必要だと思っている。



小中学校の教室にエアコンを

問 すべての小・中学校の教室にエアコンが設置されるまで、計画はどのように進めていく考えか。

答 まだ方針が最終的に決まっていないので決まった部分で来年度中の設置を目指したい。

問 これだけ議会で取り上げられながら、まだ意思決定されていないことが信じられない。市長が決断をすれば、部長・職員は知恵を出し汗もかく。市長の決断が一番重要である。市長の答弁は。

答 意思決定の内容にもよるが、来年の夏までに設置できる方策を探り、それに向けて出来ることを決定していきたい。



碓野 九州男

認知症高齢者探して メールの認識は

事前登録、協力者呼び かけを周知していく

問 認知症として診断された高齢者が道に迷ったり、家がどこか分からなくなり、家族が心配して警察に通報するケースがある。「認知症高齢者探してメール」の制度があるが、市民はこの制度を認識しているのか。

答 認知症に関心のある方に限られているかもしれないので事前登録、そして協力者の呼びかけについて周知していきたい。

問 認知症の家族や男性介護者は認知症対応に苦慮している。介護者の介護力をあげる施策はないのか。

答 十分でない。避難行動要支援者へ地域支え合い連絡カードを送付し、自治会長や隣組長の出前講座などを行っている。結果登録者は増加し、平成30年度は4520人。

答 家族についての支援は、当事者同士、悩みを共有したり情報交換できる「認知症カフェ」や講座、家族の集いなど検討する。

▼地域支え合い制度について

問 高齢者、障がい者及びこれに順ずる状態にある人が緊急の時や災害の時に地域で助け合うように、「地域支え合い制度」が平成24年度にスタートしている。市民の認識と登録状況は。



「認知症高齢者探してメール」のチラシ



蒲生 守

福間中学校建設計画の再考を求める

施行時期等を含め検討をおこなう

問 基本設計では総額35億円と出ているが、これのできるのか。

答 生徒数の増加予想から早急に入り、入札の不調の危険性がある。また、建設資材、技術者、労働者不足、労務費の高騰も懸念され、当然、物価上昇に合った設計をすすめる必要がある、35億円を上回る可

問 オリジナルの開催に伴い、建設困難な状況が考えられるが、

答 建設業界における過剰供給により、入札の不調の危険性がある。また、建設資材、技術者、労働者不足、労務費の高騰も懸念され、当然、物価上昇に合った設計をすすめる必要がある、35億円を上回る可



建設計画予定の福間中学校

性能がある。

問 市は建設にあたって壊して建てる、壊して建てる案を採用されているが、この案では既設校舎のフ

答 現在の計画では、既設校舎のフ

問 現在の計画では、既設校舎のフ



井上 聡

ユニバーサルデザイン計画の推進を

ハード面整備とソフト面の周知啓発を進める

問 バリアフリーからユニバーサル

答 視覚障害の方には、道路に点字

問 視覚障害の方には、道路に点字



総合運動公園なますの郷トイレ

課の色分け、窓口に耳マーク、筆談できるボードを設置。サイン改修は、指摘されたもので3カ所対応した。また、板面の修正等は、来年度、予算化できたら対応したい。心のユニバーサルデザインでは、一人ひとりが相手を思いやる気持ちを持ち、接することなどホームページや、人権啓発冊子で啓発を行っていききたい。太郎丸交差点から三辻参道口交差点までの歩道は、植栽の根が歩道を持ち上げている。管理者である県に、補修が必要な部分は、申し入れを行いたい。大規模公園のトイレの洋式化は、利用者の要望も強く、今後予算の範囲内で改修に合わせ洋式化に順次取り組んでいきたいと考えている。



永島 直行

機械による清掃と水上バイク規制を

複数回は厳しい、水上バイクは警察と連携

問 海が荒れた時は相当数の漂着ゴミがある。12月と3月、機械で清掃すれば海岸がきれいになる。また夏になると20台以上の水上バイクが走り回っている。今年も6月にウミガメの産卵が確認され8月に98匹が海に巣立っていった。ウミガメ保護条例で水上バイク乗り入れ禁止の規制は出来ないか。

答 複数回の清掃は予算等もあり、厳しい状況である。また産卵・ふ化等において支障をきたす様な行動の自粛をとというのがウミガメ保護条例で、海上の水上バイクの規制は出来ない。県迷惑条例で危険な行為は禁止されており、警察と連携を図り対応していく。



勝浦浜海岸で大きな音を立てて走り回る水上バイク

▼「菜から火」を中学生に

問 津屋崎中の校歌に「菜から火燃える夕焼けに」という歌詞がある。年配者の方は知っている人が多いと思うが、子供達は知らない。菜の花を植え種を取り、殻を燃やせば「菜から火」となる。観光の一環として校歌にある「菜から火」を中学生に見せる事は出来ないか。

答 「菜から火」については理解する。今の子供達に文化を学ばせ後世へと継承させることは大切と考える。植えていただく方、当時とは大きく変化し焼却の問題もある。今後の研究課題とさせていただきます。



戸田 進一

分別収集業務等を市の直接運営に

その方法含めて現在内部で協議している

問 広報配布や分別収集は、市の責任でおこなう業務であり、市民は等しくそのサービスを受けることができる。しかしながら、十分でないとの認識でいいか。

答 その通り。
問 十分でないサービスをきちんと市の責任で実施すべきであり、また地域の高齢化や自治会の負担軽減も求められている。
答 よって、広報配布と分別収集は、市が直接運営する方法に切り替えたらどうか。

答 検討する時期との認識であり、直接運営の方法に切り替えを含め



マンモス校でなく、適正規模の学校を

て現在内部協議している。

問 分別収集をしないと地域コミュニティができないような枠組みで考えるのではなく、もっと自主的なものとしてコミュニティを捉え直した方がいいのではないか。

答 自治会の負担軽減をはかり、一緒に市を盛り上げて頂きたい。

▼小中学校のマンモス校化について

問 マンモス校になると様々な課題が生じるが、対応の考えは。

答 適正規模が望ましいが、場所・予算も必要なので慎重に進める。



豆田 優子

新しい公害「香害」の周知啓発を

効果的な啓発方法を調査研究し学ぶ

問 香害による健康被害の理解と対策について伺う。近年、芳香柔軟剤等のCMが目につくようになり、香りのおもてなしという言葉も使われるほど香りがあふれている状況にある。反面、香りのために困っている人たちがいる。香りに含まれる化学物質が、めまいや吐き気、思考力の低下を引き起こす化学物質過敏症の原因の一つになるためだ。香害は、私たちが被害者にも加害者にもなり得る。対策が必要では。

答 現在は、特段の対策はしていない。今後、情報収集に努め、効果的な啓発方法を調査研究し学ぶ。



強い香りに困っている人が・・・

生きる力を育む教育を

問 平成28年制定の「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」の基本指針には、学校復帰のみにこだわらない不登校支援が必要とされた。本市にも学校に行けない子ども達が通う場所として「ひだまり」がある。適応指導教室とされているが、適応していない子どもが通う場所という印象を与えている。この名称は平成15年に「教育支援センター」に改められており、福津市でも名称を改め、内容の充実を図るべきだと思つた。

答 平成31年度に向けて内容も含め名称変更に向けて準備する。



大久保 三喜男

夕陽館送迎バス廃止後、負担軽減を

交通弱者に対し負担軽減対策提言を明記

問 夕陽館の無料送迎バスは、来年4月1日より廃止になる。現在利用している高齢者・利用者の負担は入館料（値上げ後300円）とバス往復料金を併せると、65歳〜70歳未満の人は700円、70歳以上の人は併せて500円になる。

夕陽館は、市民を初め、高齢者の健康を維持・増進し、健康寿命をより長く、健康管理をして「生きる喜び」を持つて頂く施設でもある。ミニバスなど利用者の負担の軽減と、「後期高齢者」はバス料金を無料にすべきと考えるが。

答 夕陽館利用者については、指定管理者から負担軽減策も提言いただけるような募集要領にしている。



夕陽館無料バスを廃止

今回の募集にあたり、仕様書の中に交通弱者・高齢者・障がい者等の人達に対しては、経費助成する、特に交通手段の確保に配慮した運営を行うということを明記している。指定管理者の選定基準は利用者により良い提案をした業者を選ぶ仕組みにしている。

▼産廃施設の安全管理について

問 福津市には、産廃施設が集中し、何度も火災を発生させている。どのような指導をしているのか。

答 県の保健福祉環境事務所、警察、消防署、福津市で、産業廃棄物処理場を巡回し点検指導をしている。

贈らない・求めない・受取らない
三ない運動で明るい選挙



大事な投票、忘れずに!



福津市議会議員一般選挙

投開票日は2019年1月20日(日)です
あなたの投票で、福津市の未来が始まります

みんなで「3ない運動」を徹底しよう

- 1.政治家は有権者に寄附を贈らない!
- 2.有権者は政治家に寄附を求めない!
- 3.政治家から有権者への寄附は受け取らない!

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。違反すると、処罰されます。また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。寄附禁止のルールを守って、明るい選挙を実現しましょう。

賛否表

結果	議案名	議員名																
		中村清隆	永島誠也	西野正行	蒲生守	横山良雄	豆田優子	戸田進一	榎本博	吉水喜美子	江上隆行	井上聡	米山信	永山麗子	大久保三喜男	碓野九州男	永島直行	梶村公彦
可決	議案第49号 平成30年度福津市一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	
認定	認定第2号 平成29年度福津市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	
認定	認定第3号 平成29年度福津市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	
可決	議案第55号 福津市まちおこしセンター条例を改正することについて	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
可決	議案第56号 福津市コミュニティセンター条例を改正することについて	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
否決	発議第3号 核兵器禁止条約への参加を求める意見書	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	●	○		
否決	発議第4号 原崎市長に対する問責決議	●	●	●	-	○	●	●	●	○	●	○	●	-	●	○		

※議長は可否同数の時以外は表決に参加しません

○は賛成 ●は反対 -は欠席

下記議案については全員賛成で可決・認定

7月臨時会

議案第48号 工事請負変更契約を締結することについて(福間小学校改築工事)

9月定例会

議案第50号 平成30年度福津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について

議案第51号 平成30年度福津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)について

議案第52号 平成30年度福津市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について

議案第53号 平成30年度福津市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)について

認定第1号 平成29年度福津市一般会計決算の認定について

認定第4号 平成29年度福津市介護保険事業特別会計決算の認定について

認定第5号 平成29年度福津市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について

認定第6号 平成29年度福津市公共下水道事業会計決算の認定について

議案第54号 福津市税条例及び福津市税条例等の一部を改正する条例を改正することについて

議案第57号 平成30年度福津市一般会計補正予算(第4号)について

発議第2号 学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書

大阪府北部の地震により小学校のプール塀が倒れ、女子児童が死亡したことを受け、政府は、全国の小中学校のブロック塀の安全点検を行うように文部科学省に指示した。本市教育委員会としても早急に点検を行った結果、3校(勝浦小学校、福岡小学校、福岡中学校)のブロック塀に問題があることが判明した。勝浦小学校は小規模であり改修工事が完了した。他2校については、高所広範囲に渡り、補正予算で調査設計を行う。また、9月からの残暑に備えて、教室棟建設の騒音により窓が開けられない福岡小学校管理棟9教室(普通教室、特別支援教室、会議室)に8台のエアコンが設置された。

今後、来年の夏を目途に、小中学校にエアコン設置を行うための調査費が承認された。

※特別支援教室は1教室をパーテーションで仕切り2教室としている。



議会を傍聴してみませんか

12月定例会は、平成30年11月28日(水)9時30分開会予定
(平成30年12月11日(火)閉会予定)

託児サービスがあります!(中学生以上であれば傍聴席へ入ることができます)

生後5ヶ月から就学前までのお子様をお預かりしますので、是非託児サービスをご利用ください。
傍聴希望日の土曜・日曜・祝日を除く5日前までのお申し込みが必要です。

本会議の様子をインターネットで生中継・録画配信しています!

録画中継は、議会閉会后、概ね10日以内に配信します。

【アクセス方法】福津市議会 ⇒ 議会中継・録画配信

議会にアクセスしよう!

福津市議会

詳しくは、議会事務局(43-8144)にお尋ねください。

編集後記

〃月は隈なきのみを見るものは〃(徒然草より)
十五夜(中秋の名月)の曇り空を見ながらこの一文を思い出しました。そして、雲の向こうの見えない月を想像することはできませんでした。暑いさなかに、次の季節の涼しい風を想像するのはなかなか難しいですね。酷暑といわれた今年の夏は、特に難しかった。秋風を感じる季節になってホツとしています。

今議会では、来年の夏に間に合うように空調設備を設置する設計予算が上がりました。来年の夏は、学校でも秋を想像することができますね。

豆田 優子



議会広報調査特別委員会

委員長	発行責任者
副委員長	委員長
委員	委員
永井 横 永 豆 蒲 栴	山上 山 島 田 生 村
麗 良 誠 優 公	子 聡 雄 也 子 守 彦



■ 福間小学校 既存教室にエアコンを設置

現在の小・中学校普通教室数・特別支援教室数（平成30年9月21日現在）

学校名	普通教室数	特別支援教室数	学校名	普通教室数	特別支援教室数
神興小学校	9	2	津屋崎小学校	24	8
上西郷小学校	6	1	勝浦小学校	6	0
福間小学校	25	4	福間中学校	19	3
神興東小学校	16	3	福間東中学校	14	2
福間南小学校	36	5	津屋崎中学校	11	3